

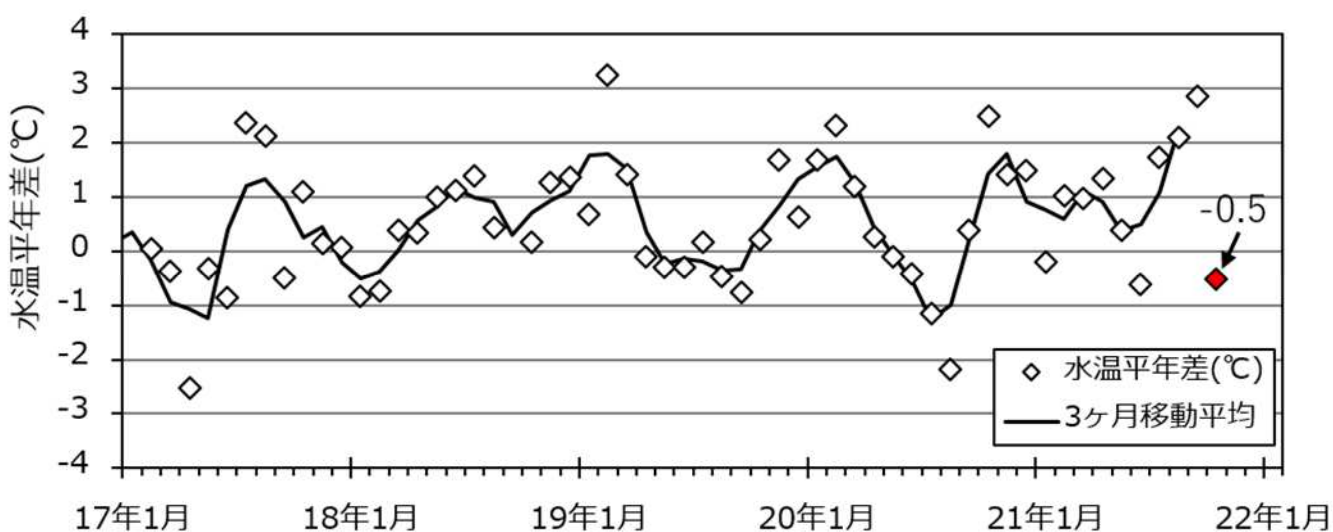
【水温の変動】

10月27、28日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。

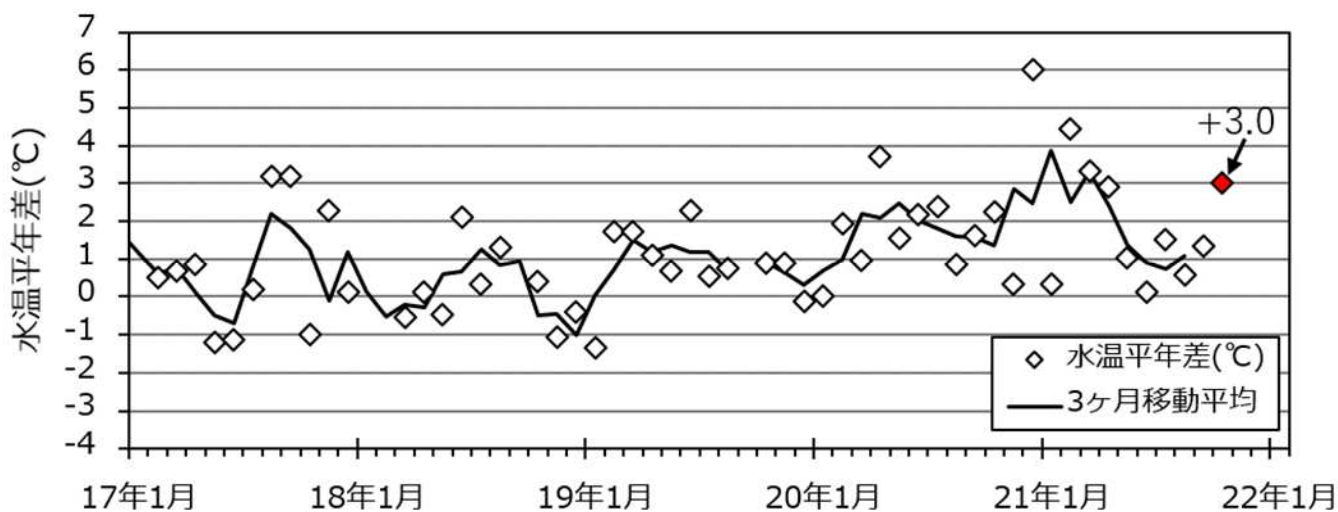
湾口部では平年差 -0.5°C でやや低め、沖合域では平年差 $+3.0^{\circ}\text{C}$ で極めて高めでした。

10月27日の人工衛星画像によると、黒潮は大王崎沖の北緯30度付近まで南下した後、八丈島の西側を北上して石廊崎に接近し、その後沿岸部を房総半島沖へ流れています。現在、黒潮の影響が弱まったため、渥美外海の沿岸部は 23°C 前後の沿岸水に覆われています。

湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、表層で 21.7~24.6°C、水深 100m で 17.6~19.7°C、水深 200m で 14.0~15.9°C となっていました。水温の鉛直断面図をみると、渥美外海の水深 0~50m は鉛直混合が進み均一な水塊となっています。また、等温線に目立った傾きはなく、全体的に顕著な流れはない模様です。クロロフィル a 濃度は、湾口部がやや高く、渥美外海では低くなっています。

水温の水平分布図と水温, 塩分, 密度, クロロフィル a 濃度の鉛直断面図

